

KIDS DESIGN AWARD 2022

募集期間
03.01(火)
↓
05.16(月)

どんな未来が、
見えていますか。



社会の中にたくさんのモノや情報があふれる今、本当に良い製品やサービスとは何でしょうか。

「子どもの目」から“当たり前”を見つめ直すと、今の社会にあるモノと人と社会の関係性について、より多様な視点と広い視野で考えることができます。

子どもこそがすべての人々にとっての「未来」です。“当たり前”を再考し、子どもが歩みたいと思う社会のためのモノづくり、それを支える人々に光を当て、「便利な未来」よりも「豊かな未来」をつくっていく。

私たちは、そうした考え方や取り組み、またそこから生まれる想いや笑顔の“循環”を総称して「キッズデザイン」と呼んでいます。

さあ、今年もキッズデザイン賞を通して、「未来の見方」を更新していきましょう。



第16回キッズデザイン賞

応募と審査の流れ 以下の「応募と審査の流れ」をご確認いただき、ご応募ください。

WEB応募受付 3月1日10時～5月16日12時

WEB上の応募要項で詳細を確認

キッズデザインミッションに基づく3つの「部門」と応募作品の分野に基づく5つの「カテゴリー」からそれぞれ1つずつお選びいただけます。

3つの部門

- 子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン部門
- 子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン部門
- 子どもたちを産み育てやすいデザイン部門

5つのカテゴリー

- ①プロダクト
- ②アプリケーション・サービス
- ③建築・空間
- ④コミュニケーション
- ⑤調査・研究

審査 7月11日～7月22日

審査のポイント

- 子ども・子育てを取り巻く社会課題をきちんと抽出し、その解決に取り組んでいるもの
- 子どもの学びや好奇心を限りなく伸ばし、目標を追及できるような工夫、仕組みを有しているもの
- 新たな時代のニーズや変化に柔軟に対応した育児、家事、働き方等の提案につながっているもの

審査委員

<審査委員長>

益田文和 (インダストリアルデザイナー / オープンハウス 代表取締役)

<副審査委員長>

赤池学 (科学技術ジャーナリスト / ユニバーサルデザイン総合研究所 所長)
持丸正明 (産業技術総合研究所 人間拡張研究センター 研究センター長)
山中龍宏 (小児科医 / 緑園こどもクリニック 院長)

<審査委員>

赤松佳珠子 (建築家 / CATパートナー / 法政大学 教授)
赤松幹之 (産業技術総合研究所 ヒューマンモビリティ研究センター 名誉リサーチャー)
五十嵐久枝 (インテリアデザイナー / 武蔵野美術大学 空間演出デザイン学科 教授)
大月ヒロ子 (ミュージアム・エデュケーション・プランナー / イデア 代表)
岡崎章 (拓殖大学 教授 / 工学研究科 情報・デザイン工学専攻 主任)
定行まり子 (日本女子大学 教授)
竹村真一 (文化人類学者 / 京都芸術大学 教授 / Earth Literacy Program 代表)
中村俊介 (芸術工学博士 / しくみデザイン 代表取締役)
西田佳史 (東京工業大学 工学院 機械系 教授)

橋田規子 (プロダクトデザイナー / 芝浦工業大学 教授)
深田昭三 (愛媛大学 教育学部 教授)
宮城俊作 (ランドスケープアーキテクト / 設計組織 PLACEMEDIA・パートナー / 東京大学大学院 教授)
森本千絵 (コミュニケーションディレクター / アートディレクター)
山中敏正 (筑波大学 教学マネジメント室長 / 同大学院人間総合科学研究科 感性認知脳科学専攻長・芸術系 教授長)
渡和由 (筑波大学 芸術系 環境デザイン領域 准教授)

*所属は2022年2月16日現在

受賞作品発表 8月24日

最優秀賞などの発表 9月上旬

最優秀賞などの表彰 9月28日

最優秀賞 内閣総理大臣賞等を発表

キッズデザイン賞の構成

- | | |
|--|--|
| 🏆 最優秀賞 内閣総理大臣賞 | 🏆 奨励賞 キッズデザイン協議会会長賞 |
| 🏆 優秀賞 経済産業大臣賞
消費者担当大臣賞
少子化対策担当大臣賞
男女共同参画担当大臣賞 | 🏆 特別賞 東京都知事賞
TEPIA特別賞
BEYOND COVID-19特別賞
審査委員長特別賞 |

🏆 2021年内閣総理大臣賞 🏆



作品名 VIVISTOP NITOBE FURNITURE DESIGN PROJECT

団体名 学校法人新渡戸文化学園 / VIVITA JAPAN株式会社 / tokotodesign

2020年新設!

キッズデザイン賞事務局

応募要項はWebサイトをご確認ください

✉ 2022kids@kidsdesign.jp

https://kidsdesignaward.jp



キッズデザインのあふれる世界へ

キッズデザイン賞とは



KIDS
DESIGN
AWARD
2022

子ども目線から社会を見つめることで、製品やサービス、活動の「新たな意味と価値」を見出し、合理性のみの追求ではない、寛容で豊かな社会を実現するための賞です。

キッズデザイン賞受賞の2つの価値

- 1 子どもの目線から社会を変えていくという意欲や思い、発想や技術が評価されること
- 2 企業や組織のマインドやビジョンを広く社会が認知し、ブランド価値が向上すること

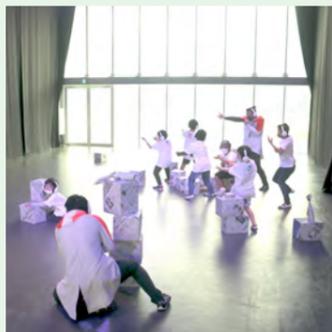
この2つの視点から、これまでの受賞作品の受賞後の展開をご紹介します。



リスクにされされている数は世界で11億人。 子どもに安全なヘッドセットの開発

エレコム株式会社 子ども用ヘッドセット

世界の若者約11億人が自覚しにくい特徴の音響性難聴のリスクにあるというWHOの報告があります。これは85dBまでの音量制限をした安全なヘッドセット。小学生1,790名分の頭部データを活用し子どもの体格にフィットするよう設計されました。発売以降、家電量販店などで売場が拡大、キッズデザインマークと共に広く消費者へ特徴を伝えています。



「カラダは命令通りには動かない」 「心は命令されるとつまらない」

特定非営利活動法人 MIYAZAKI C-DANCE CENTER ゲームごっこ

地域に“アーティストックな身体活動”と“きらめくダンス体験”を提供するNPOで多くのキッズデザイン賞を受賞。コロナ禍では、観客がヘッドフォンで楽しむサイレント公演や仮想現実(VR)でアバターを通じてダンスを一緒に作る試みなどに挑戦。離れていても身近に感じるプログラムの制作を通じ学校の先生とも新たな関係が生まれています。

IF DESIGN AWARD 2023 × KIDS DESIGN AWARD 2022 パートナーシップ連携



キッズデザイン協議会はこのたび、ドイツのiF International Forum Design GmbHとパートナーシップ契約を締結しました。同団体は、世界で最も歴史あるデザインアワード「iF DESIGN AWARD」を運営しており、キッズデザイン賞との連携を通じて、相互のアワードの認知拡大、デザイン業界の活性化に寄与するとともに、「子ども目線・子ども視点」のキッズデザインの考え方をグローバルに展開するための契機とします。

キッズデザインに取り組むことは、 SDGs に取り組むこと。



今や企業活動に欠かせない SDGs への取り組みを、キッズデザインから始めてみませんか。キッズデザイン協議会では、会員企業を対象にしたSDGs入門セミナーを開催しました。セミナーのレポートをキッズデザインマガジンでご覧いただけます。

キッズデザイン賞の詳細はこちら

応募する



キッズデザインを知る



受賞作品を見る



これまでに5,785点が応募、3,439点が受賞。

第16回 キッズデザイン賞募集期間 | 03.01(火) → 05.16(月) 12時まで